2021年度 中京大学チャレンジ奨励金　最終報告書

２０２２年　　０２月　　０９日

学科・学年　　総合政策学部・総合政策学科　第三学年

氏名　　黒田辰弥

１．プロジェクト名

Study　Japanese　（日本語教室）

２．活動期間

２０２１年　０２月　０１日　～　２０２３年　０３月　３１日

３．活動場所(主だった住所・施設名)

Zoom

４．参加者　　２２　　名

５．予算・使用経費等

費目	内容	予算金額	執行金額
印刷費用		6720	0
書籍購入費		51000	37840
公式問題集		3500	0
模試用教材費		9900	0
スタンドライト		50660	8000
プレゼント費用	扇子・カルタ	2640	0
タブレット費用	Wacom　Intuos　Small	158950	0
物品郵送費	生徒への郵送（海外）	72000	17850

６．奨励金以外でかかった主な経費等

使用時期	使用用途	金額
10 月 10 日～18 日	アイコン作成	5000（黒田負担）

◆プロジェクトの当初予定していた活動内容

このボランティアの予定していた活動内容は、２つである。

１つ目は、簡単に参加できる日本語を学べる場を作ることだ。理由は、日本語教室は多くあるが、高額な費用のために断念する人や、コロナ禍によって移動を避けたいために参加できない人がいる。仕事や学校の予定が合いにくい人に学習機会を作りたいと考え、日本語教室を実施したいと考えたからである。

２つ目は、外国人の方と関わる機会を持ちたいからだ。理由は、多文化共生社会が推奨されているため、今後ますます外国の方と関わる事が増加するといえる。仕事や日常生活で意見交換等を円滑に進めていくには、日頃から伝える機会を持ち経験をして自分の伝え方を見直していく必要があると思う。しかし、コロナ禍のため自由に外出もできないため、交流をオンラインで行い、分かりやすい日本語で正確に伝える等の工夫を身に着けていきたいと考えた。

活動方法は、「日本語能力試験の対策」と「日本の文化の紹介」を zoom の利用を通して行う。

今までは社会科学系の学生しか在籍していないので言語系の学部の学生を取り込む。

日本語能力試験の勉強は、まず一人ずつ最終目標と個人目標を決め、その目標に合わせて個別に学習計画を立てる。そして、立てた目標の試験レベルや個人の苦手科目に合わせた教材を使用して授業をおよそ週一回行う。学習進度の目安にするために、2ヶ月に１回小テストを実施し、結果を可視化できるようにする。教材は、市販の教科書やインターネット上で公開されている資料を参考にして作成する。

日本の文化の紹介は、会話練習の一環として行いたい。実用的な会話だけでなく、日本独自の風習に関する物や海外と日本の文化の違いなどをテーマにして毎回会話をする。その際に、会話するだけでなく実際に郵便で実物を届けて実物（例えば、夏には扇子や風鈴等）を見て日本の文化を実感してもらいたい。

また、月に一度メンバー内ミーティングで課題や改善点等を話し合い、更なる活動の向上に努める。

生徒は、最後にその程度力がついたかを確認するためにテストを行う。

◆中間報告時に抱えていた課題への対応結果

課題：N3、N2 の生徒に関しては副詞や形容詞が分からないことが時々あった。説明が難しいことも多いことがある。
対応：インターネットで画像を用いて説明することで視覚的な理解もしてもらった。事前に質問されそうなところを検討し、英語訳やそれに近い言葉で説明できるようにした。
例：「とぼとぼ」歩く　weakly　trudge alon
結果：授業中に質問で困ることや、対応に費やす時間が短縮できた。
課題：Ｎ５生徒はレベルの差が大きく、平仮名、カタカナがどうにか出来るレベルの人から文章を読んでの練習で大丈夫な人まで様々であり、毎週復習しないと授業が先に進まない生徒もいる。
対応：あいうえおの練習とカタカナの読みが必要な生徒には毎週繰り返し一緒に発音練習をした。漢字も一文字ずつ読みと発音の練習を行い、インターネットの練習アプリを使用して効率的な学習を実施した。
結果：ひらがな・カタカナともにおよそ習得できた。拗音がつまずくことがあるが、最初と比べるとかなり読む力はついた。

◆プロジェクトの目標達成度合い（活動内容や到達レベル等を具体的に記入してください。成果物があれば、添付してください。）

目標

生徒の目標としている級の日本語能力試験の合格・日本語能力の向上

達成状況
　新型コロナウイルスにより、開催がされなかった国や、受験を控えた生徒がいた。
把握している中では一人が N1 に合格した(92 点)のみとなっている。(2021/12)
　生徒（10 人）にアンケートした結果、「日本語能力が向上したと感じているか」という質問に対しては全員が「はい」と返答している。「参加した目的は達成できているか」という質問に対しては「できている」は４人と少なかった。＊他の回答として「練習中」と答えた人が 2 人いる。

自己評価による達成度　　60　%

◆改善点、やり残したこと

　当初予定していた Zoom で何かイベントを開くということが達成できなかった。理由としては想定以上に同じ言語のレベルの中でも差があった。そのため、皆が同じように楽しめるイベントが考えつかなかったためである。生徒の住んでいる国もバラバラで時差があることもあり、開催するにもこちらの負担がかなり大きくなると考えたことも原因の一つにあった。
　本試験（日本語能力試験）が開催されなかったり、生徒の都合上、受験ができず実際にどの程度力がついているか分からなかった。実際に試験結果をみて学習の補助が出来ればよかった。
　生徒から「漢字を使っている国の学習者にとって多分漢字の意味と書き方より読み方の方が難しいと思います。授業の時学生の母語によって授業内容をちょっと変わるといいかもしれないね。」と指摘を受け、出身をもう少し考慮して授業と準備をするべきだったと反省した。しかし、アラビア語、ドイツ語が母語である生徒もおり、改善することが難しい場面がある。生徒に読み書きの理解度やどう感じて授業を受けているのか相談しながら授業を進めていくことが必要だと考える。
　ミーティングがあまり行えなかったこと。

◆今回のプロジェクトを実施したことにより、どのような気付きを得たか

（例えば、成果の活用・利用について、次回のプロジェクト活動に向けての抱負、卒業してからの展望等、自由に記入してください）

ボランティア活動を始めて、今まで参加した生徒の人数は 14 人（連絡が取れなくなった人、卒業した生徒）だった。実際これ以上に 5，6 人申し込みがあるが、先生が足りないため断っている。このことから、海外には日本語の学習で困っている人が自分の思っている以上にいることを実感した。

教える難しさを感じた。言葉の意味を教える時に、説明で使う言葉がより難しい言葉になっていたりすることがあった。教える側のスキル不足を感じた。スキル不足を解決するためには日本語教育者の研修がある。しかし、時間が無い人や、手軽に日本語ボランティア活動を行いたい人にはあまり研修という制度はマッチしないのかもしれないと思った。もっと手軽に短い時間で基礎的な教育スキルが得られる機会があればと思った。もし、卒業してから機会があれば専門的に言語のサービスを提供している機関と、言語のボランティア活動を行う（行いたい）人をつなげる活動を行いたい。

1 年間、外国の人と会話しながら学習を行うことでボランティア活動に参加したほとんどが言語の違う人と話す経験を通して「外国人と話すことへのハードル」が下がった。コロナ禍であっても異国間交流を通して新しい考え方や知識が得られた。

来年度、再来年度引き継ぎをして活動ができたらいいと思う。

◆次回チャレンジしてみたいこと

現地に行って言語交流を行う。
N3 の生徒を N1 レベルまでサポートする。
他の同じような団体と交流を行う。
今後も多くのボランティア参加者を集うために学生支援課様などの協力を得ながら継続した活動をしたい。
来年度もチャレンジ奨学金に申し込む体制が出来たら活用してより多くの外国の方と出会いたい。

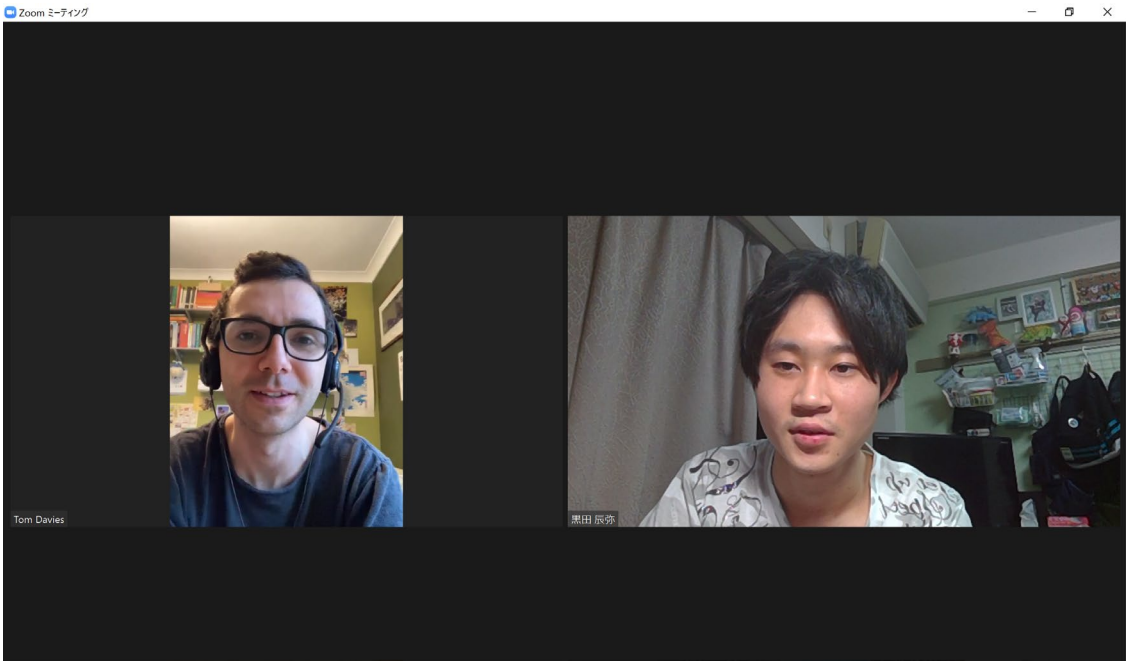
◆チャレンジ奨励金制度を活用したい学生へのアドバイス

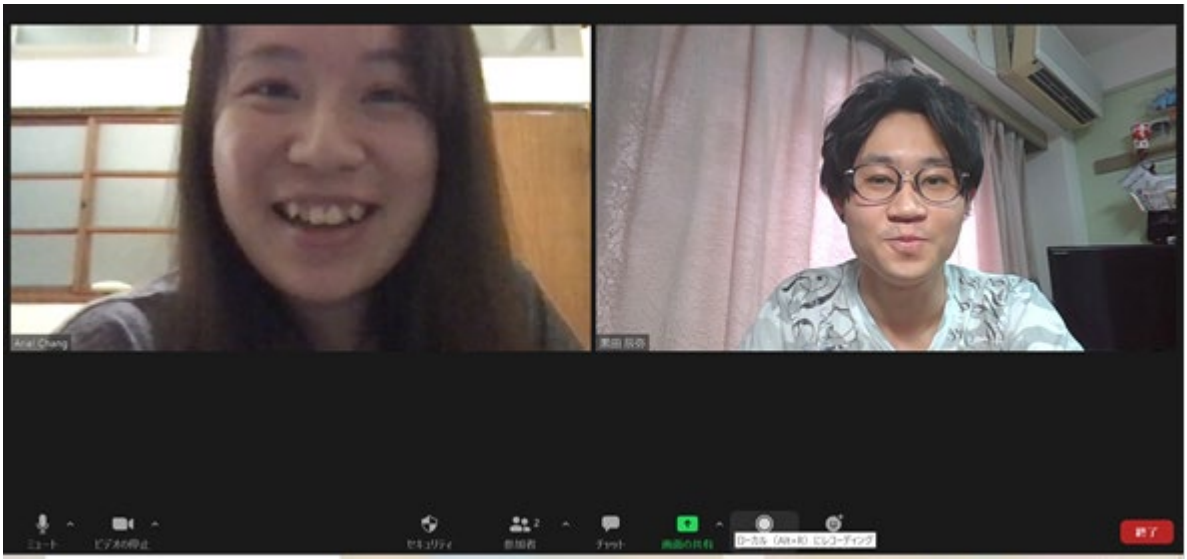
具体的な目標と、強い意志を持っている人はぜひ活用してください。きっと、そのような意思を持っている人なら有意義な制度です。特に学生では、金銭面の限界があると思います。もし活用できれば、やれることの幅も増えます。制度を活用して得られる恩恵も多いです。記憶と結果に残るものが出来ます。まずは、申請だけでもしてみて欲しいです。行動あるのみです。

◆実施結果（成果）

※必要に応じて写真・現物添付可。枠欄が足りなければ、追加してご記入ください。

・生徒との写真



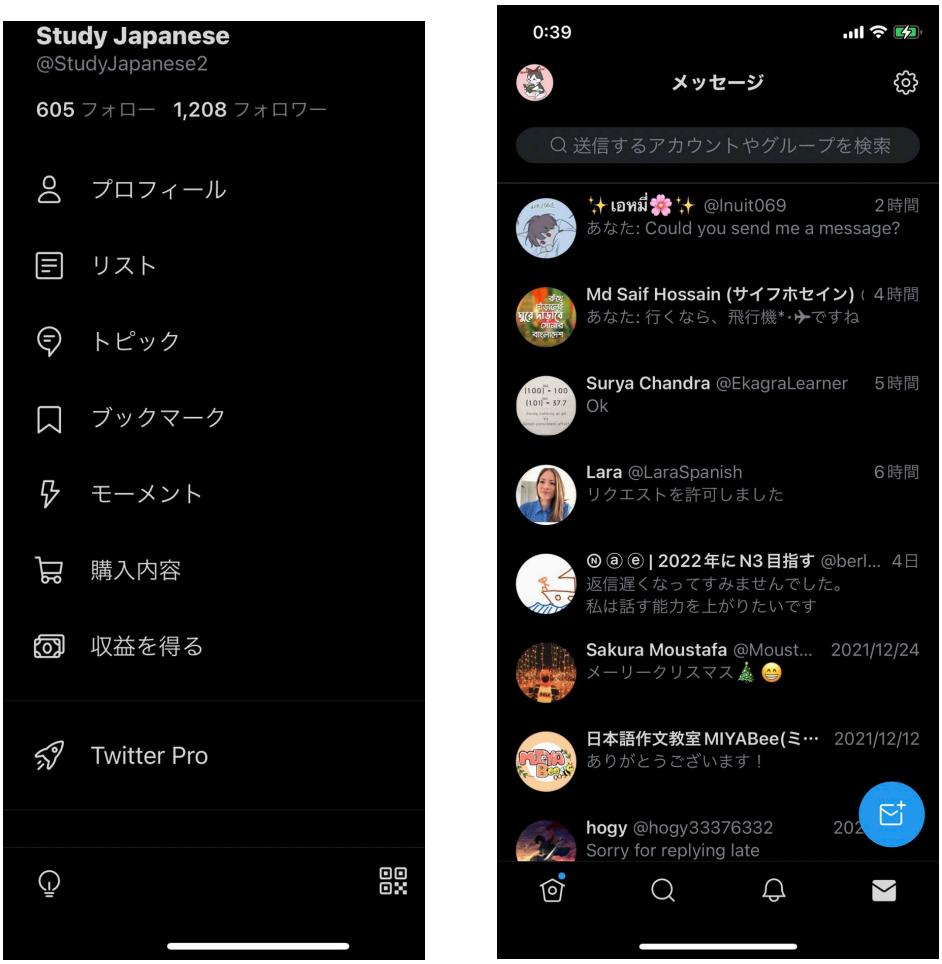


・国際学部の学生が参加している講義でボランティアの紹介

国際英語学部、文学部言語表現学科、言語文化学科所属の 3 名が参加してくれた。

Twitter で生徒の募集を行いました。認知度については、2021/2/1(200)→2022/2/9(1208)。（左図）

生徒との Twitter でのやり取り（右図）です。この後にいくつかの確認をして Gmail でのやり取りになります。


Study Japanese
@StudyJapanese2
605 フォロー 1,208 フォロワー
プロフィール
リスト
トピック
ブックマーク
モーメント
購入内容
収益を得る
Twitter Pro
0:39
メッセージ
送信するアカウントやグループを検索
✨เอหมี่🌸✨ @lnuit069 2時間
あなた: Could you send me a message?
Md Saif Hossain (サイフホセイン) 4時間
あなた: 行くなら、飛行機*･✈ですね
Surya Chandra @EkagraLearner 5時間
Ok
Lara @LaraSpanish 6時間
リクエストを許可しました
ⓝ ⓐ ⓔ | 2022年にN3目指す @berl... 4日
返信遅くなってすみませんでした。
私は話す能力を上がりたいです
Sakura Moustafa @Moust... 2021/12/24
メーリークリスマス🎄😄
日本語作文教室MIYABee(ミ… 2021/12/12
ありがとうございます！
hogy @hogy33376332
Sorry for replying late

アイコン

Study Japanese